

国民年金



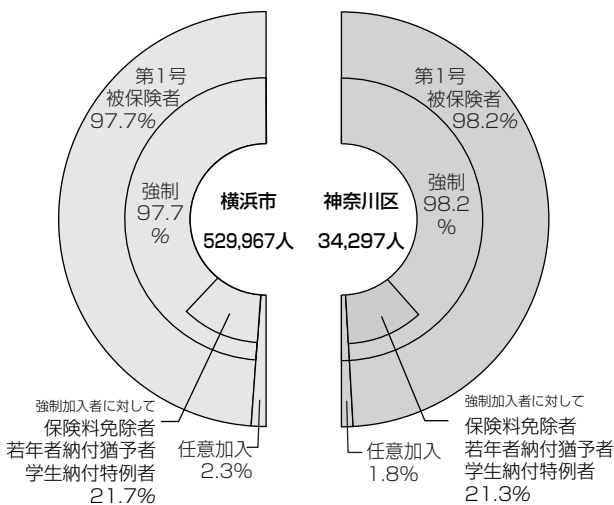
国民年金制度

国民年金は、日本に住む20歳以上60歳未満のだれもが必ず加入して、基礎年金を受ける制度です。

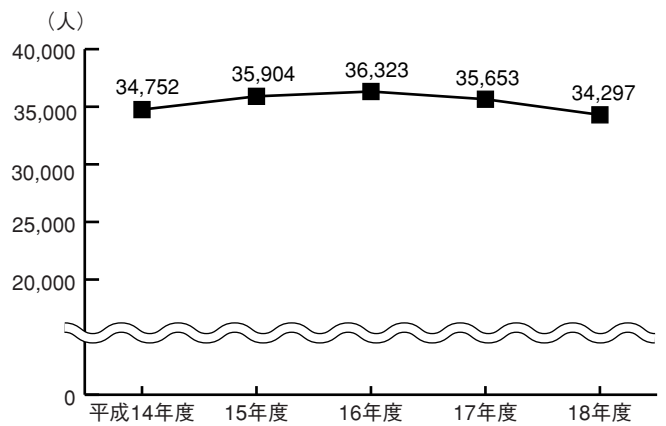
平成19年3月31日現在、神奈川県では第1号被保険者並びに任意加入者の合計は34,297人、区人口の15.3%にあたる方が加入しています。

- ※第1号被保険者……日本国内に住所を有する20歳以上60歳未満の農業・自営業者などの人
- ※任意加入者………60歳以上の人で、引き続き加入された人など

■被保険者数（平成19年3月31日現在）



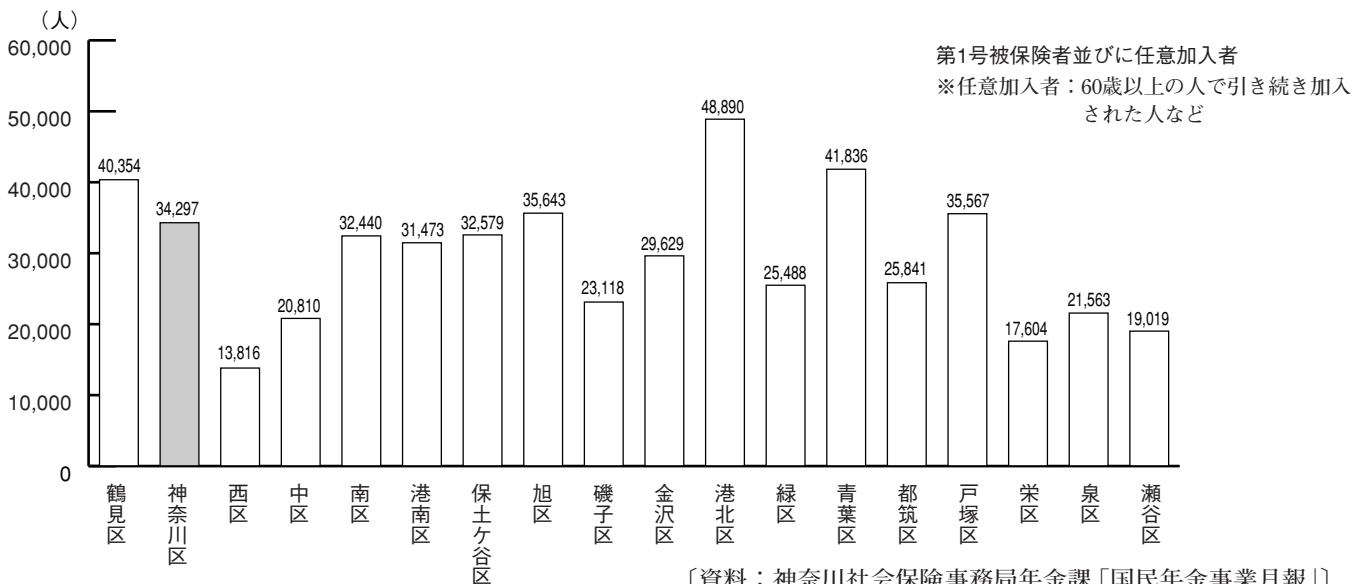
■神奈川県の被保険者数の推移



〔資料：神奈川社会保険事務局年金課「国民年金事業月報」〕

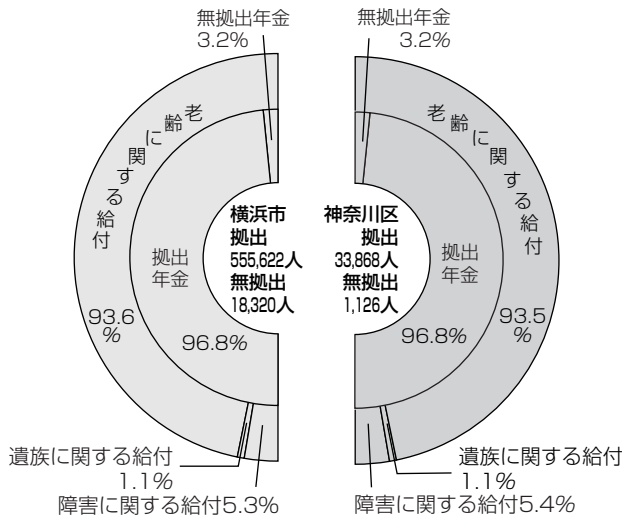
〔資料：神奈川社会保険事務局年金課「国民年金事業月報」〕

■区別国民年金被保険者数（平成19年3月31日現在）



〔資料：神奈川社会保険事務局年金課「国民年金事業月報」〕

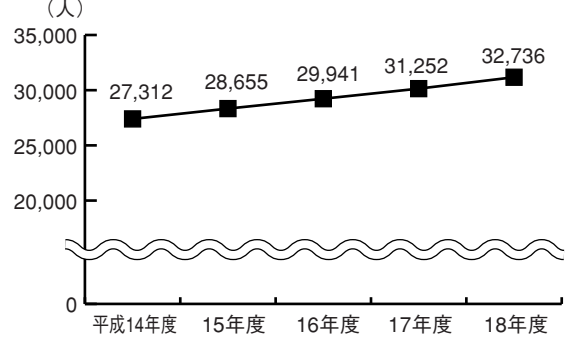
■国民年金受給者数（平成19年3月31日現在）



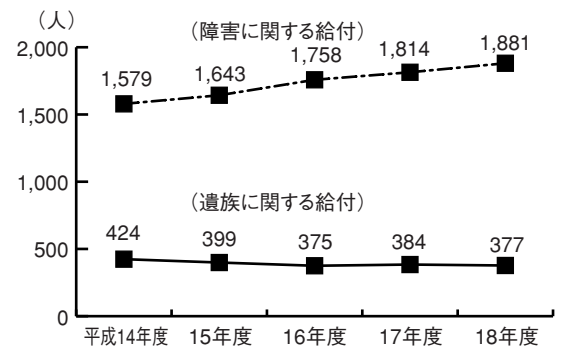
〔資料：神奈川社会保険事務局年金課
「社会保険事務所別・市町村別・受給権者数」〕

■神奈川区の給付内容別年金受給者の推移

●老齢に関する給付

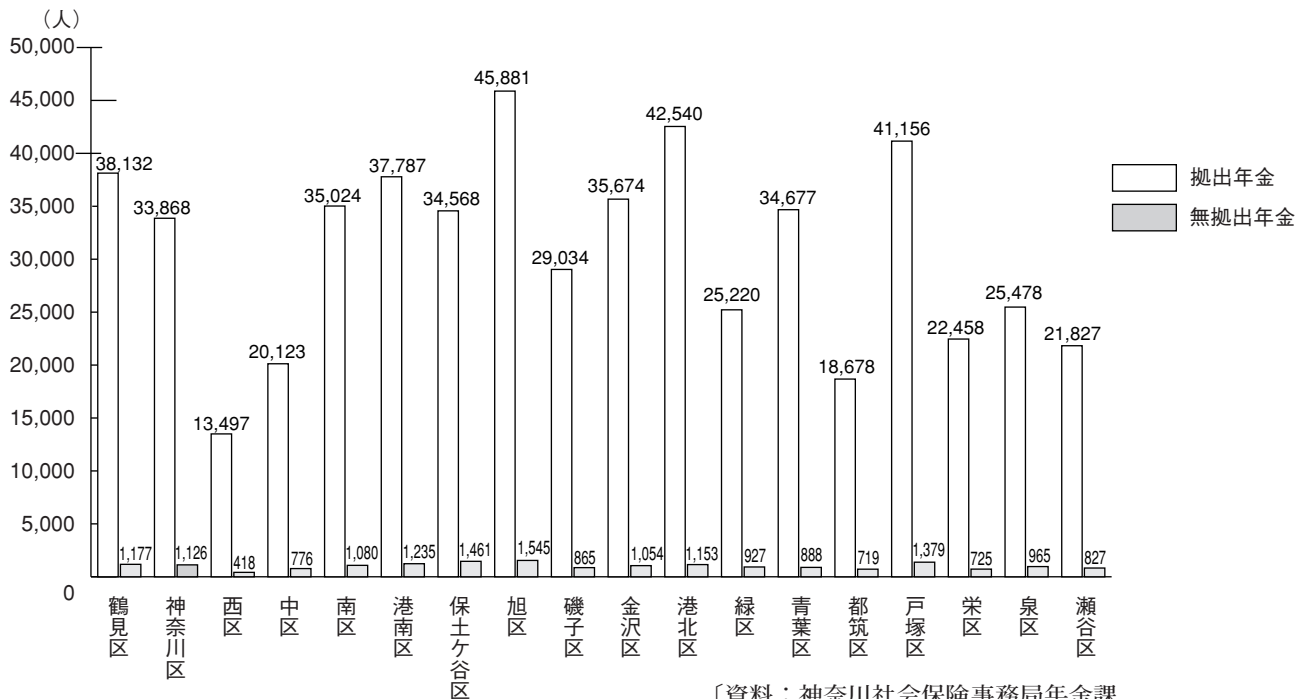


●障害及び遺族に関する給付



〔資料：神奈川社会保険事務局年金課
「社会保険事務所別・市町村別・受給権者数」〕

■区別国民年金受給権者数（平成19年3月31日現在）



〔資料：神奈川社会保険事務局年金課
「社会保険事務所別・市町村別・受給権者数」〕

国民健康保険

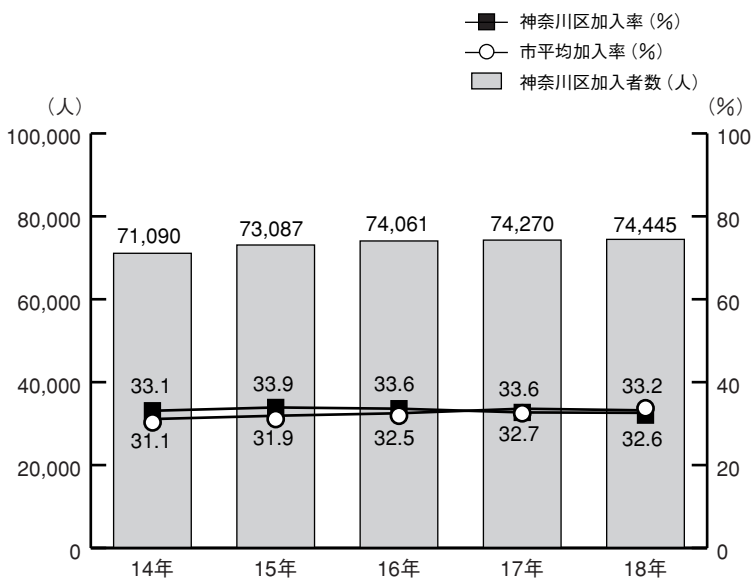


国民健康保険制度

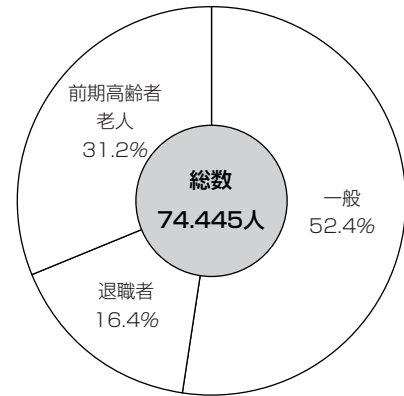
国民健康保険は、病気やケガなどをしたとき安心して治療を受けられるように、加入者みんながお金を出し合って助け合う制度です。

国民健康保険は地域単位でつくられていて、横浜市が運営しています。

■国民健康保険加入者数の推移（各年3月31日現在）



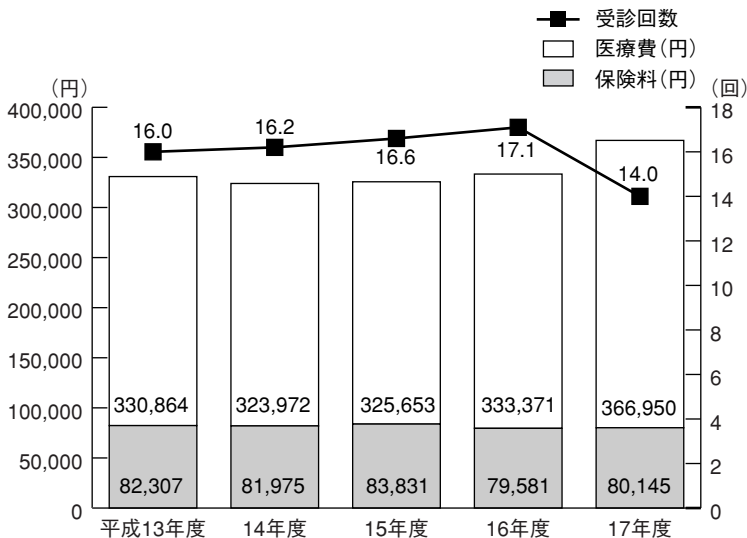
■神奈川区の資格別加入者の割合（平成19年3月31日現在）



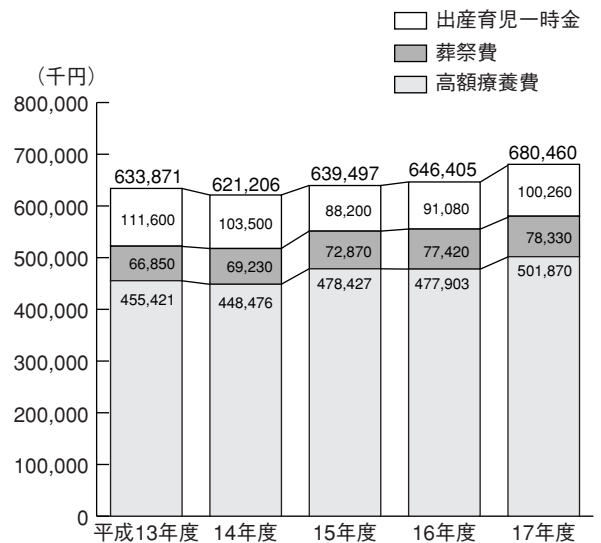
一 般：下記以外の方
 退職者：会社などを退職して、年金を受けている方
 前期高齢者・老人：前期高齢者と老人医療保険加入者

〔資料：横浜市国民健康保険月報〕

■横浜市の1人当たりの医療費・受診回数と保険料の年度別推移

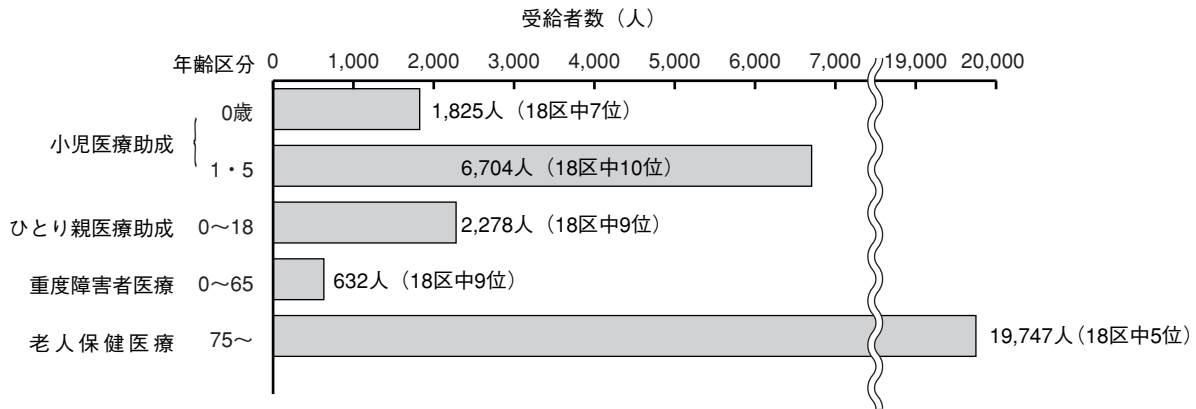


■神奈川区の高額医療費・葬祭費と出産育児一時金の年度別支給状況



〔資料：横浜市の国民健康保険〕

■神奈川区の医療助成制度別受給者数（平成18年3月31日現在）

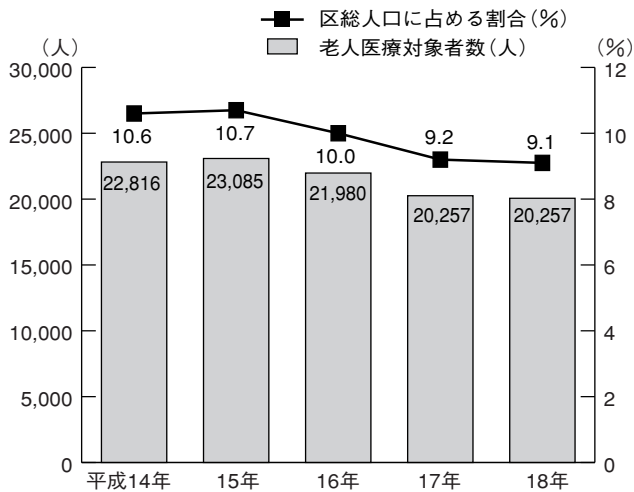


老人保健医療制度

高齢者医療に必要な費用をみんなで公平に負担し、安心して老後を送れるように設けられた制度です。75歳以上または65歳以上で一定の障害（身体障害者手帳1～3級、4級の一部など）を持っている方が対象となります。

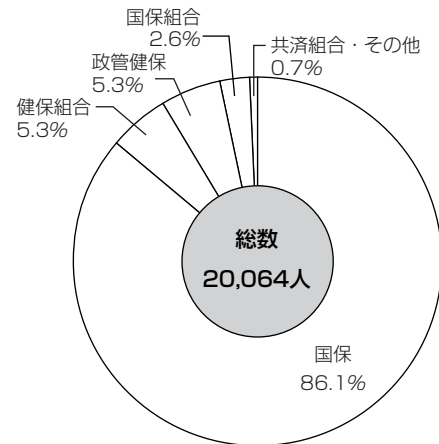
※経過措置として、平成14年9月30日までに70歳になった方（昭和7年9月30日以前に生まれた方）についてもひきつづき老人保健医療の対象となります。

■神奈川区の老人保健医療対象者数の推移（各年1月1日現在）



〔資料：医療費援助事業年報〕

■神奈川区の老人保健医療対象者の保険別内訳（平成18年1月1日現在）



■保険料徴収の推移

